

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

区政レポート

発行者
練馬区豊玉北6-12-1
練馬区役所西庁舎6階
会派名
練馬区議会立憲民主党
03-3999-3111
内線7681~7683

生活・経済・物価高騰・年金・保険料値上げ・介護保険制度改正・英語スピーキングテスト……。
子ども・高齢者・事業者を、如何に守るのか？ 区長に訊く!!

「コロナ関連の総額を区民に説明し検証も」

国のこの3年間のコロナ関連事業総額は約77兆円。国民一人が60万円を負担したことになる。練馬区のコロナ関連の交付金総金額は、1千256億円となり、感染症対策や生活・事業者支援として取り組んできた。そして、一定の時期を見て、区民に説明していくが、検証は難しい」とのこと。大事な税金である。一定の効果等、検証を行い、区民に示していくことは重要。

「一定年後の職員が再度管理職に就くのはおかしい」

課長以上の管理職となれる職員が10人もいるのに、定年後、再任用で管理職に就いている職員が20人もいた。年金受給年齢の引き延ばしや現職員の経験年数が足りないからと、定年者を就かせるのは、業務を遂行していく上でも、決して好ましいものではない。職場環境のバランスを図るためにも急ぎ、職員の育成を図れ。

「全世代型社会保障だからと高齢者はかりが負担増になっていく仕組みでよいのか？」

「将来世代に負担を先送りせず、能力に応じて皆が支え合うことを基本とする」と厚労省は、お題目を並べて、高齢者に生活負担を課していく①年金支給額の引き上げ②幅率の抑制③国民健康保険料の上限の引き上げ④国民年金保険料の納付期間の5年延長⑤介護保険制度での介護保険料の増額⑥サービス利用意見した。

「女性防災リーダーを活用できる防災対策を」

災害時の女性の活躍の場は必須。区内にある「避難拠点運営連絡会」に、防災学習センターで学んだ「女性防災リーダー」が参加できる男女共同参画の視点を。



11月30日 本会議場での一般質問にて

「災害時、ペット同行避難の対策と飼い主のいない動物保護シェルターを」

区内にある都立公園を、都と協議して、獣医師会の協力の下、飼い主のいない動物が保護できるシェルターの設置を。

「物価高騰やコロナ禍の影響で、介護業界も激変。練馬区の事業者支援は重要」

この1年で、介護事業者の倒産件数が100件となった。今後、利用者の保険料や利用料の見直しによる利用者練馬区として、高齢者抑制の影響。「要介護1・2を総合事業に移行」「訪問と事業者をしっかりと守れ。」

「第8期計画の検証と第9期の計画が重要になる」

今後一層、各自自治体に課せられていく介護保険制度。それだけに、保険者としての練馬区の姿勢が重要になる。まずは、コロナ禍の影響による高齢者の生活の環境と介護サービス事業者の状況を検証していくべきである。

「英語スピーキングテストの採点を都立高校入試に使用することは中止せよ」

来年の都立高校入試の一つにと、都は「英語スピーキングテスト事業」を11月27日に一斉に行った。都議会では、中止を求める議論が立ち上がり、問題点を指摘。①採点をフィリピン人の採点は、文化や言語解釈の違いが影響する②評価のデータ結果が、入試直前の1月下旬に提供されれば、入試希望校の判断ができない。③不受験者の生徒には、受験者の平均した点数を提供。これは、教育の公平性に欠ける。区は「都教育委員会より、問題を求めると聞いている、中止を求めることはない」との答弁に終始。教育現場を持つ区が、生徒や教職員を守るのが責務なのに、大変遺憾であり、公教育の本質が問われていく。これからも声を出していきたい。

「ICT教育の充実と、身体への負担の軽減を図れ」

ICT教育も3年経ち、次性を。教材持参を軽減し、児童・生徒の身体負担への配慮を。

白石けい子 プロフィール



連絡先

練馬区高松3-24-19 2階

TEL 03-3990-3107

FAX 03-5241-9735

HP shiraishi-keiko.net

1954年10月 東京都台東区御徒町育ち（昭和29年生）
 1960年 練馬区貫井育ち、練馬区立練馬第二小学校・貫井中学校卒業
 1973年 東京都立第四商業高等学校卒業
 1975年 朝日生命保険相互会社退職 ※実業団バスケットボール部所属
 1977年 東京都練馬高等保育学院卒業 ※保育士取得
 1979年 中野区役所 保育園勤務退職
 練馬区高松在住 4人の子育て中心の生活 犬と猫を飼い、現在 猫1匹
 1994年 保育サービス事業を練馬区高松にて開業
 1998年 ホームヘルパー2級（現 初任者研修）・社会福祉主事取得
 2000年 特定非営利活動法人（NPO法人）ケアステーションぽかぽかと名称変更し、法人格取得。理事長着任、現在に至る
 2001年 保育「保育ルームぽかぽか」と介護「ぽかぽかデイサービス高松センター」大家族のような融合施設を展開。現在に至る
 2007年 練馬区議会議員選挙に初当選。現在、4期目
 2014年 練馬区長選挙に出馬 ※次点にて惜敗
 2023年 4月23日投票の練馬区議会議員選挙 立憲民主党公認決定

「要望アラカルト」

① 地域包括支援センターと地域福祉事業者との情報共有や連携がコロナ禍により途絶えている。区の主導で再構築されたい。

② 昭和39年に策定された「区の普通財産の無償貸付け等に関する基準条例」への問題提起をした。喫緊の区立谷原保育園の移転先となる4億3千万円の評価額の土地を、民営化に向け一事業者に、30年間の無償貸付けをしていく。「財政がひっ迫している」と区民に説明をし、30年間も無償で提供する時代ではないはず。自助努力で運営をしている事業者との公平性にも欠け、この先、不透明な社会情勢の中で30年間の確約はできない。

③ 今議会の意見書では、全議員賛成で「子育て世帯への総合的な支援を求める意見書」は可決となったが、野党の提出した「学校給食費の無償化を求める意見書」は、なぜか否決をされた。残念なことだ。

「SNS時代、情報提供と広報活動」

区民の方々に、議員がどんな活動をしているか、伝えていくのに紙媒体が主流だった。このコロナ禍の影響で、一機にデジタル化・ハイブリットが進み、情報化社会となった。おかげ様で有権者の方々に本議場の一般質問の登壇の様子も同時中継されていくことで、多くの方々にも視聴していただき感謝をしています。

今、議会内も、ペーパーレスやICT化に向け議論されているが、遅々として進まない。1月には、練馬区議会公式ツイッターも開始される。これからは、ツールを上手に活用し、区民の方々に迅速に、情報提供ができるように頑張ってください。



セミナー開催決定!!

「災害時、ペット同行避難って可能なの?」

地震や風水災害など、いつ起きるかわかりません。その時「大事なペットとどう行動したら……?」「練馬区は、ペット同行避難可能と言っけれど……?」「飼い主がいなくなった時、動物たちはどうなるの?」等。人とペットの共生について一緒に考えてみませんか。

記

【開催日】 令和5年2月19日（日）

【開催時間】 14時～15時30分 ※入場可能 13時50分

【会場】 レンタルスペーススタジオ67 Enzo

練馬区豊玉中3-14-12 グリーンコーポ豊玉1F

【対象者】 ペットや同行避難に興味のある方

【開催方法】 ペット同伴可 15組

※当日は、オンライン参加可能。

【参加費】 無料

【講師・講演内容】 現在調整中

【問合せ】 白石けい子 ※詳細は、決定次第SNS・HPにて配信

▼白石けい子の考察▲

今なお続く、ロシアのウクライナ侵略。その影響で、この日本にも、物価高騰の波が押し寄せ、私たちの生活も、先行き不透明となり、不安な生活が強いられている。そんな中、国会閉会後に、国防・防衛強化と増税の説明がされた。令和5年は、関東大震災からちょうど100年目。自然災害・気候変動等、取り組むべき事柄は山積しているの…。

来春、練馬区議会議員選挙の投票日が決定。自身のこれまでの4期15年間は、「保育」や「介護」の現場を持つ事業者としての声、次世代への「教育」「子育て支援」の重要性。生きづらい社会への支援への施策提案など、さまざま取り組んできたが、やはり、まだまだ活動していきたいテーマ「いのちへの対策」もある。「オンライン診療」「ヤングケアラー」「防災」「ペット」対策等もこれからの活動としていきたい。ここ数年、投票率が低く、政治不信の影響が懸念されるが、多くの有権者が、ぜひ、身近な政治への参加に関心を持たれ、令和5年が皆さま方にとって良い年となりますよう祈念しています。